

桑名高校（3・ポスター発表）

現代における食品アクセス問題

要旨

研究内容は食品アクセス問題の交通面についてで、特にオンデマンドバスに焦点を当てている。桑名市、他地域のオンデマンドバスに乗車し、運転手の方に話を聞くなどして特徴を比べる。問題解決に向けた改善策として特に高齢者の方にオンデマンドバスを知っていただき全体の利用率を向上させることと、提案を通した政策の実用化を目標とする。

1. 研究の動機と目的

移動販売を見て食品の入手が困難な方がいることに気づき、桑名市における食品アクセス問題を改善したいと考えた。そのために桑名市のオンデマンドバスの政策について市役所に改善案を提案し、オンデマンドバスの実用化を目指す。

2. 方法

桑名市のオンデマンドバス政策を、菰野町（オンデマンドタクシーの運用が実用化されているため）と比較し、菰野町の政策を参考に、実用化に向けより効率的な運行方法を再考・提案する。実際に菰野町のオンデマンドタクシーに試乗し、厳密な比較を行う。

3. 結果

比較の結果、主に次の2点を桑名市の取り組みにも反映したいと考える。

- ・若年層も含め利用率が高い→宣伝方法や需要に合わせた適切な乗降場所である点
- ・AIを活用したスケジュール管理で効率的に送迎を行い無駄なく運行されている点

今後、桑名市で実施される第2回オンデマンドバスに乗車し双方のサービスを体験したうえで、再度問題点を洗い出し比較・提案を続けていく予定。菰野町での試乗を終えて桑名市には以下のような提案をした。

4. 提案（第2回オンデマンドバス実施以前の提案概要）

主に「赤字について」「人手不足」「認知度不足」の3観点から行っている。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ①若・中年層も利用できる時間帯にする | ②運賃・運転手の給料引き上げ |
| ③乗降場所の増設・停留所を具体的に示す | ④移動距離に応じて運賃を変える |
| ⑤ネット・電話予約を活用した運行台数の調整 | ⑥人の移動が多い場所に停留所を設置 |
| ⑦運転手の再雇用 | ⑧他施設に広告を掲示→認知度の向上 |

5. 結論

桑名市以外の市町村（四日市市・菰野町・春日井市（愛知県））に対する、オンデマンドバスや食品アクセス問題についてのアンケート、オンデマンドバスを体験した感想、上記の調査等から桑名市に政策に関する提案を行った。その意見を踏まえ第2回オンデマンドバス実証実験が始まった。乗降場所には大型スーパーが追加される等、提案内容が反映されたといえる。この実験の結果で、第1回と比べ利用率・満足度の向上が見られればオンデマンドバスの実用化に近づく貢献ができたとして、本活動は成功といえると思う。

6. 参考文献

http://www.city.kuwana.lg.jp/documents/693/10r3houkoku_s.pdf